

読めるようである。しかし(一六一〇)によれば、同じ宣徳三年九月に漫泰来結制らが天字号船で明へ使っている。船名の書き違いか、または船の変更などが考えられる。

硫黄二千五百斤 大青盤二十個
小青盤四百個 小青碗二千個
右、暹羅国に咨す
宣徳四年(一四二九)十月初十日
咨

1-40-07

琉球国中山王より暹羅国あて、有南結制等を遣わして速やかな交易を請う咨(一四二九、一〇、一〇)

琉球国中山王、進貢の事の為にす。

切に照らすに、本国は貢物稀少なり。此の為に今、正使有南結制等を遣わし、洪字号海船に坐駕し、磁器を装載して貴国の出産の地面に前往して胡椒・蘇木等の貨を収買せしむ。回国して以て大明の御前に進貢するに備う。仍お礼物を備えて詣前し、奉献して少しく遠意を伸ぶ。幸希わくは収納せよ。仍お煩わくは、今差わす人員は早きに及びて打発し、風迅に趕趁して回国するを聴さんことを。四海一家、永く往来を通ぜしむれば便益なるに庶からん。今、奉献の礼物の数を將て開坐し移咨す。須らく咨に至るべき者なり。

今開す

織金段五匹 色段二十四

腰刀四把 摺扇二十把

1-40-08

琉球国中山王より暹羅国あて、南者結制等を遣わして公正な交易を請う咨(一四二九、一〇、一〇)

琉球国中山王、進貢の事の為にす。

切に照らすに、本国は、別に中つるに堪うる貢物無し。此の為に、特に正使南者結制等を遣わし、人船を管領し、磁器を装載し、貴国の出産の地面に前倒して胡椒・蘇木等の貨を収買し、回国して応用せしむ。専ら礼物を備えて前詣し、奉献して少しく芹忱の意を伸ぶ。仍お希わくは海納せよ。今去く人船は、煩わくは両平に蘇木等の貨を収買し、風迅に趕趁して回国せしめんことを。四海一家、永く盟好を通ぜしむるに庶からん。今、奉献の礼物を將て後に開坐す。須らく咨に至るべき者なり。